

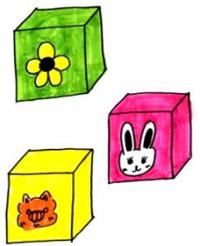
単元名：ボール蹴りゲーム 【第1学年】

関連：助言集 p.6



運動の特性

攻撃・守備に分かれ、チーム対チームで競い合い、相手をおどして得点に当てるのが楽しいゲームである。



ルールの設定

試合人数

1 チーム7人
(各チーム 2 名は別コートでディフェンスを行う。)

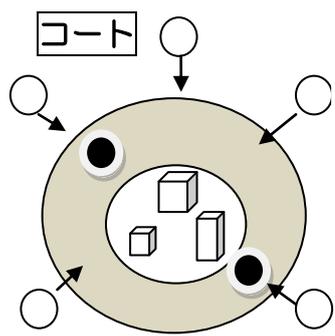
時間配分

- ・ 1 試合5分
- ・ 振り返り
全体をタブレット型コンピュータで撮影した動画を見ながら、ゲームを振り返り、発表し合う。

ルールの工夫

- ・ 「ボールをねらった所に蹴る」「蹴り方を工夫する」等が自然に身に付くように段階を踏む。
- ①ボールの数
- ②的の数
- ③的の得点
- ④全員得点へのボーナス点
・ 2人組ボール蹴りゲームや円陣ボール蹴りゲームを、ウォーミングアップとして導入に取り入れ、楽しみながら、技能が身に付くようにする。

場の工夫



- ・ 円は半径3m (ゴールゾーンは1m)
- ・ コートは3面使用 (1 チームは得点係とする。)

- ・・・オフェンス
- ・・・ディフェンス
- ・・・的
(大きさによって得点に差をつける。)



用具の工夫

ボールの大きさ

- ・ 直径約19cmのソフトモールドボールを使用 (痛い、怖いという恐怖心をなくすため、比較的にかわいいボールを使用)



実技研

『ラインサッカーにつながるゲーム』

- ・ 5人対5人で行うゲーム。
- ・ ゴールに見立てたコーンとコーンの間にボールを入れたチームが1点。
- ・ 5人のうち、2人が自チームの「補助ゾーン」に入り、ボールを手で転がしてコート内に入れられる。「補助ゾーン」の人はゾーンから、出られない。他の3人は「補助ゾーン」には入れない。
- ・ 「補助ゾーン」の1人がボールをもてるのは、3秒まで
- ・ 「補助ゾーン」の1人は、直接ゴールはねらえない。

